Vol.82

まるとみ新聞

newspaper
'22 Feb.

発行所
北九州市若松区本町1-1-33
丸富産業（若松区役所前）
TEL093-751-1081

すまいdeスマイル
4年2月号

住まいの雑学 TRIVIA

貯金箱の歴史

人形型の貯金箱は、置物に見せてお金を隠す知恵でもあったんだって。

最初は貝の入れもの？

貯金箱の歴史は意外と古く、アジアでは紀元前200年頃、中国前漢時代に作られた青銅製の貯貝器（ちょばいき）が起源と考えられています。当時は子安貝（こやすがい）がお金として使われていたため貯金ではなく貯貝。一方ヨーロッパでは古代エジプトや古代ギリシャの時代、祭事の際に貴金属の小片などを入れてもらった献金箱がルーツとされています。

ヨーロッパは洋梨型が定番

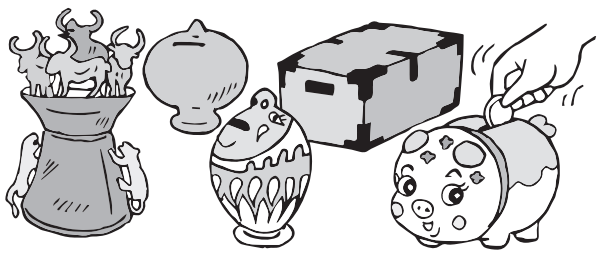
その後アテネやオリンピア遺跡から紀元前3世紀頃の宝物寺院の形をした貯金箱が、古代ローマ遺跡からは3～4世紀の洋梨型貯金箱が発見されており、この梨型は現在も世界各地で作られています。

中世になるとさまざまな動物モデルの貯金箱が作られるようになりますが、これらは素焼きや陶器で最後は割って取り出すしかありません。そこで15世紀頃、金属製で開閉可能な貯金箱が登場します。人気はシリンダー型やビールジョッキ型。フタに南京錠がついていて、商人や貴族のあいだで使われるようになりました。

日本は宝珠の「貯金玉」

日本は古くから土器が発達したため、当初はかめや壺が使われたと推測されています。江戸時代になると千両箱のような銭箱、竹筒にお金を貯めた銭筒などが使われますが、明治に入ると郷土玩具の土人形や七福神、だるま、招き猫など縁起物の貯金箱がたくさん作られるようになります。これらは昭和初期頃まで「貯金玉」とよばれていたのですが、この玉とは宝珠（ほうじゅ※）のこと。明治のはじめ、東京浅草で作られた貯金箱がこの形だったからといわれています。

※宝珠＝如意宝珠（にょいほうじゅ）。あらゆる願いをかなえてくれるというタマネギ形のたまで、仏塔や仏堂の頂上に置かれます。橋の欄干など寺院以外の装飾に使われるのは擬宝珠（ぎぼし）。龍がよく手に持っているあの龍玉（ドラゴンボール）もこれです。



豚の貯金箱は世界で人気

世界中で愛されているのが豚の貯金箱。19世紀のイギリスでpygg（赤い陶土）をpig（豚）と聞きまちがえて作ったという起源が有名ですが、じつはインドネシアでは15世紀、ドイツでは13世紀のものが出土しています。豚は古くから多くの国で富や幸福のシンボルとされていましたから、きっとそれぞれの国で独自に誕生したのでしょう。

ちなみに日本に伝わったのは昭和初期。銀行で口座開設の景品として配られたものだったようです。

トコロ変われば

犬の幼稚園？猫の救急車？

■ヨーロッパ

欧米の賃貸住宅は基本的にペット可。「犬はOK、子どもはNG」はあるらしい。

ペット後進国といわれる日本と違い、ヨーロッパでは基本的にペットショップでの動物の販売が禁止されています。ブリーダーや保護施設からの入手が一般的ですが、施設といっても獣医師がいる庭付き個室、ソファ、ベッドつきだったりするので健康状態は良好。もし犬が欲しければそこで面接、試験、自宅の飼育環境チェックなどに合格しなければならず、飼ったあとはしつけのためにトレーナーを雇うか学校（訓練クラス）に通わせ「毎日一定時間太陽の光を浴びて自由に動き回らせる」「1日2回は飼い主の顔を見せる」「留守番は6時間までしかさせない」などの厳格なルールを守ります。それが困難な場合は幼稚園に預ける手もあります。ドイツでは忘れず「犬税」も払ってください。

一方、猫は閉じ込めないのが基本の飼い方。猫用窓や猫ハシゴをつけて自由に出入りさせ、もし一匹で飼う場合は毎日人と接する、ほかの猫が眼に入るようにするなどのルールを守ればいいのです。猫専用の救急車を準備している国もあるので外出中にけがをしても安心です。

すまいるライフ

おしえて仙人！

リフォームの基礎知識 Basic Knowledge

照明メーカーのコーディネーターなどプロに相談して決めると安心だね。

◆照明計画の基礎知識

照明計画の手順は、❶家全体と各部屋ごとにどんな空間にしたいか設計者に明かりのイメージを伝える。❷設計図を見て照明の種類や配置、光の分布などをシミュレーションしてみる。❸照明器具を選定、です。簡単なようで難しい照明計画ですが、失敗の具体例も参考になります。

●リビング
ダウンライトが主流ですが、部屋が暗いと感じる人が多いようです。ダウンライトは天井を照らさず、真下方向を直線的に照らすので部屋の端が暗くなりがち。間接照明を加えるか多灯分散配置＋調光機能にしましょう。

●ダイニング
食卓を照らすペンダントライトは食事をおいしく見せてくれますが、いざテーブルを配置すると照明が真上にこなかったという事件が多発。ダウンライトと併用するかダクトレールで移動可能にしておくといいかもしれません。コードを短く切りすぎたという人も多いので要注意。

●キッチン
天井中央に照明をつけたら作業をする手元が暗かった、とならないようキッチンはとにかく手元を明るくが鉄則です。

●寝室
仰向けに寝ると天井照明の光が目に入ってまぶしい、となりがち。寝室は電球色などは暗めか調光機能つきがおススメ。

●洗面・洗濯室
雰囲気のよい電球色の明かりにしたら、洗濯物の汚れや化粧品の色が確認しづらかった、なんてことにならないようここは昼白色が正解です。

●玄関
ホールの中心に照明をつけたら接客時、後ろから光があたって顔が暗くなる、がよくある失敗例。

●廊下
人感センサーライトは夜、トイレに起きたときに覚醒してしまうデメリットが。常夜灯がいいようです。

ちがいはナニ？

肉や野菜を煮込んだものが「ポトフ」。その汁を取り出したのがブイヨンだよ。

ブイヨンとコンソメ

ブイヨンは肉や骨、香味野菜などを長時間煮込んだもので、フランス語で「だし汁」の意。スープやソースのベースとして使い、そのまま飲んだりはしません。

一方コンソメはブイヨンをベースに肉や野菜、調味料を加え味を調えたスープ。「完成された」という意味をもち、お湯で溶いてそのままおいしく飲むことができます。日本ではどちらも固形や顆粒のスープの素として使われますが、もともとコンソメはフランス料理の「澄んだスープ」を指す言葉で、その反対のとろみのついたスープが「ポタージュ」です。

また似たような違いがあるのが鶏がらスープの素と中華だしの素。鶏がらスープは鶏の骨と長ネギ、しょうがなどの野菜を煮込んだシンプルなだし汁で用途の広さが特徴。中華だしの素はそれに豚エキスやオイスターソースなどの魚介エキスを加え、これひとつで中華の味が作れるという完成の高い調味料になります。